

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）  
協力：アブラック（アメリカンファミリー生命保険会社）

Hibiki to the World  
SUNTORY HALL

ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第3番 八短調 作品37  
BEETHOVEN: Piano Concerto No. 3 in C minor, op. 37

ブラームス 交響曲 第4番 ホ短調 作品98  
BRAHMS: Symphony No. 4 in E minor, op. 98

円熟の“炎のマエストロ”が  
人間味溢れる熱いタクトを振る！

小林研一郎 (指揮)  
KEN-ICHIRO KOBAYASHI, Conductor

## ベートーヴェンとブラームス。 〈比類なき究極の芸術〉

歴史を築いた87歳の巨匠。  
一音一音が奇跡の瞬間を紡ぐ！

イェルク・デームス (ピアノ)  
JÖRG DEMUS, Piano

日下紗矢子(コンサートマスター)  
SAYAKO KUSAKA, Concertmaster

読売日本交響楽団 第564回 定期演奏会

2016 **11.24** (木) 19時開演 **サントリーホール**  
S ¥7,500 A ¥6,500 B **SOLD OUT** C **SOLD OUT**

SUBSCRIPTION CONCERT No.564  
Thursday, 24th November 2016 19:00 | Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)  
<http://lyomikyo.or.jp/>



# ベートーヴェン ×ブラームス。 名匠と大巨匠が紡ぐ 奇跡の音楽。

円熟を極める76歳の小林研一郎(読響・特別客演指揮者)の音楽は、つねに進化し、深みを増している。2014年から取り組んでいる読響との「ブラームス:交響曲全集」のCDでは、強いエネルギーに満ちながらも、どこか人生の儚さを垣間見せる瞬間もあり、名匠の風格を漂わせる。交響曲第3番の録音は、『レコード芸術』誌(2015年3月号)で「特選盤」に選ばれた。選者の音楽評論家・宇野功芳氏からは「じっくりとした味わいは小林には珍しい」「こんなに心のこもったブラームスは近頃少なくなった」と称賛された。第1番、3番、2番と録音を進め、今回満を持して最後の交響曲である第4番を《定期演奏会》で披露する。哀愁を帯びた旋律や重厚な響きを通じて、小林はどこまで深い音楽を聴かせてくれるのだろうか。大いに注目していただきたい。

前半のベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番では、87歳のウィーンの歴史的ピアニスト、イェルク・デームスが共演する。パドゥラ・スコダと並ぶウィーン生粋の大巨匠で、昨年12月には91歳の名指揮者ネヴィル・マリナーと共演し、世界的な話題を呼んだ。明澄で温かく朴訥とした演奏は、老巨匠の崇高な境地を表し、フレーズから生まれる独特の詠りが歴史の奥深さを感じさせる。人生とは、音楽とは何か、深く心に染み入る至高の時間が訪れるだろう。

## イェルク・デームス(ピアノ) JÖRG DEMUS, Piano

ウィーン黄金時代の薫り高い伝統を継承する最後の大巨匠。1928年オーストリア生まれ。6歳からピアノを始め、ウィーン国立アカデミーで学ぶ。ナット、ギーゼキング、ケンプ、ミケランジェリ、フィッシャーのもとで研鑽を積む。14歳で楽壇デビューし、56年ブゾニ国際コンクールで優勝。以後、世界各地から招かれ、カラヤン、クリュイタンス、サヴァリッシュ、小澤征爾ら巨匠の指揮で著名楽団と共演している。ドイツ・リート演奏にも優れ、フィッシャー=ディースカウ、シュヴァルツコフ、シュライアーらと共演。室内楽では、スーク、ヤニグロら歴史的な名手と度々共演した。多くの名盤を残し、数々の国際的な賞を受賞している。歴史的楽器の収集と研究にも情熱を注ぎ、貴重な楽器での演奏、録音も行っている。ベートーヴェン生誕200年祭にはボンのベートーヴェンの生家で、作曲家が使用したハンマーフルエゲルを演奏する栄誉を与えられた。楽譜の編纂や著作にも携わるほか、自ら作曲活動も熱心に行っている。楽壇デビュー70周年を迎えた2013年には、3月のウィーン楽友協会での記念コンサートなど、誉れ高い芸術活動を続けており、今も世界の聴衆を魅了し続けている。



## 小林研一郎(指揮) KEN-ICHIRO KOBAYASHI, Conductor

“コバケン”の愛称で親しまれている世界的指揮者。熱い気持ちの込められた音楽づくりで、聴衆から絶大な支持を得ている。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ダバレスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。数多くの音楽祭出演のほか、欧州の一流楽団を多数指揮。02年の「プラハの春」音楽祭では、東洋人で初めてオーブニングコンサートの指揮者に招かれ「わが祖国」全曲をチェコ・フィルと演奏し、満員の聴衆からスタンディング・オベーションで拍手を送られた。これまで、ハンガリー国立響の音楽総監督やチェコ・フィル常任客演指揮者をはじめ、国内外の数々の楽団のポジションを歴任。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル、名古屋フィルの桂冠指揮者、九響の名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、東京芸術大学、東京音楽大学、リスト音楽院の名誉教授などを務める。2013年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。オクタヴィア・レコードなどから数多くのCDをリリース。読響とはブラームスの交響曲の全曲録音に取り組んでおり、交響曲第3番のCDが『レコード芸術』誌の特選盤に選ばれるなど、好評を博している。

読響日本交響楽団 第564回 定期演奏会

2016年 11月24日(木) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ~~5,000~~ / C ~~3,000~~

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

サントリーホール30周年  
記念参加公演

Hibiki to the World

SUNTORY HALL

読響

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

※座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。\*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットびあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017